

## 天声人語

未来の予測は難しい。190

3年、米ミシガン貯蓄銀行の頭取は、自動車についてこう語つたそうだ。「馬は生活に浸透しているが、自動車は珍しいだけの流行にすぎない」。新興のフオード自動車に投資しない方がいいとの助言だった▼「コピー機の市場規模は、世界で5千台だろう」とは、米メーカー首脳の40年代の言葉だという。実感をもとに技術の影響力を侮ったのだろう。陥りがちな落とし穴だが、先日亡くなつた未来学者アルビン・トフラー氏には無縁だった▼80年刊『第三の波』を開くと、「いま」が見えていたのか、という気がしてくる。「神経網のような情報システム」を基盤にした産業社会を予想し、通信だけでつながる友人が可能になるとしに信だけでは、別の著書で書いた。遺伝子技術を例に、優れた人間を作り出すべきなうとすることも「無謀に伸ばそうとする」とも、同じくらい破壊的な結果をもたらすと別の著書で書いた。人工知能に仕事を奪われる事態にどう対処するかも課題だろう。技術を侮っている余裕はない▼「われわれが技術を支配しなければ、技術がわれわれを支配するだろう」。トフラー氏の著書で紹介されている言葉だ。未来学者が現在に投じてくれた警句だと考えたい。